

図1. 東北地方太平洋沖地震後の地殻変動（海上保安庁〔課題番号：8001〕
 赤と黒の矢印は、海底基準点と国土地理院の電子基準点における累積変位ベクトルを示す。

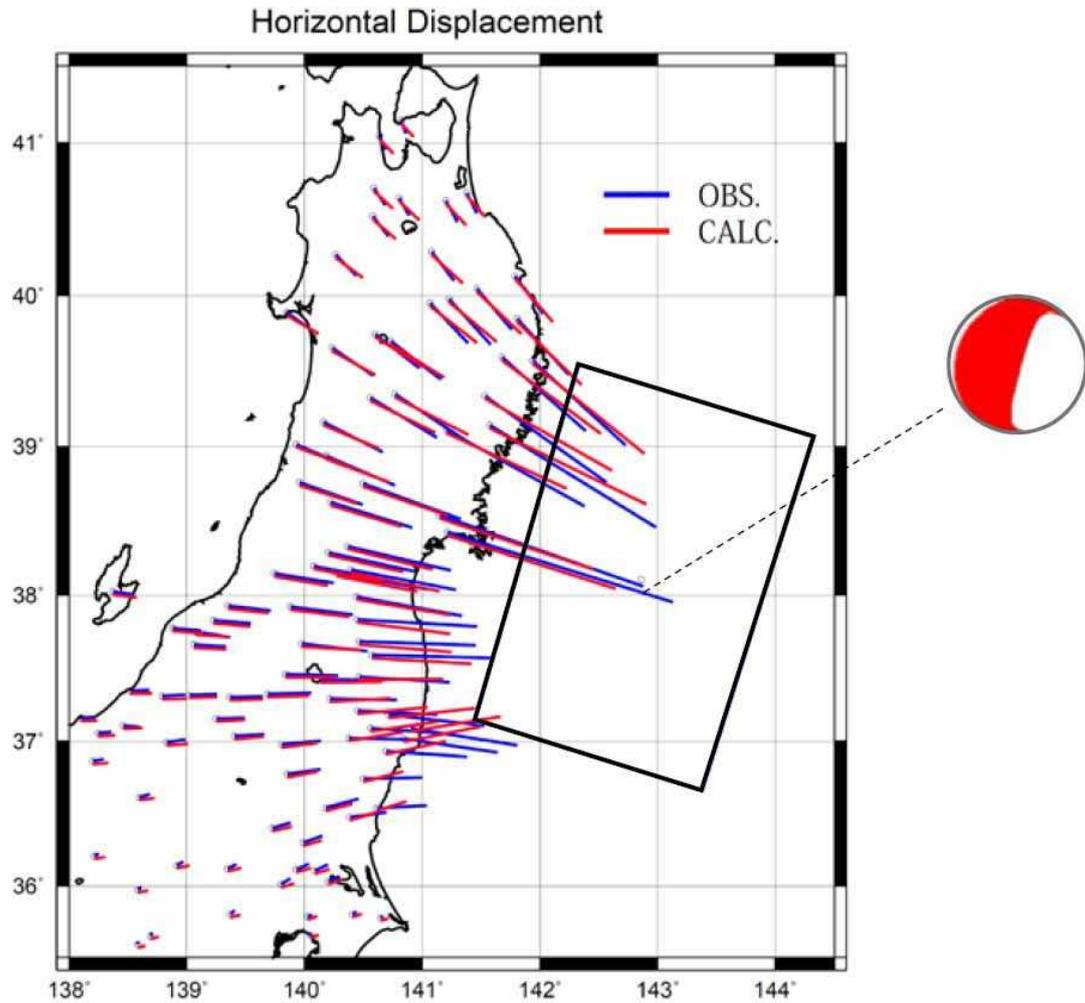


図 2. GNSS データを用いた断層面推定 (気象庁 [課題番号 : 7009])
 平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震について, GNSS データを用いて **w-phase** 解析を行い, 更にそこで得られたモーメントテンソル解及び GNSS の永久変位に対して整合的な断層面を推定した。

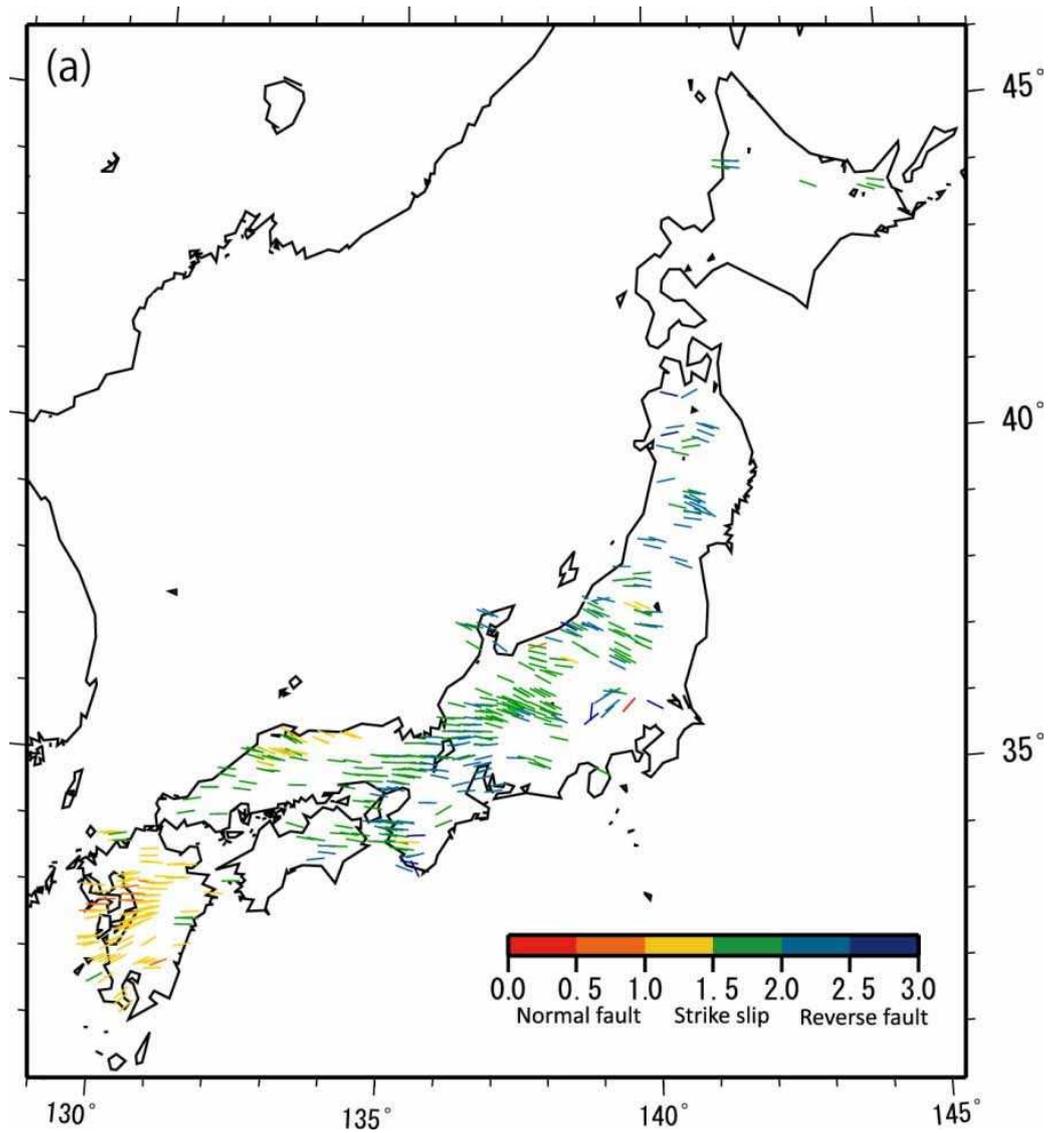


図3. 列島規模で推定された応力場の空間分布 (京都大学防災研究所[課題番号:1905], Yukutake et al., 2015)

棒の方向及び色はそれぞれ水平最大圧縮応力軸方向及び応力場のタイプを示す。

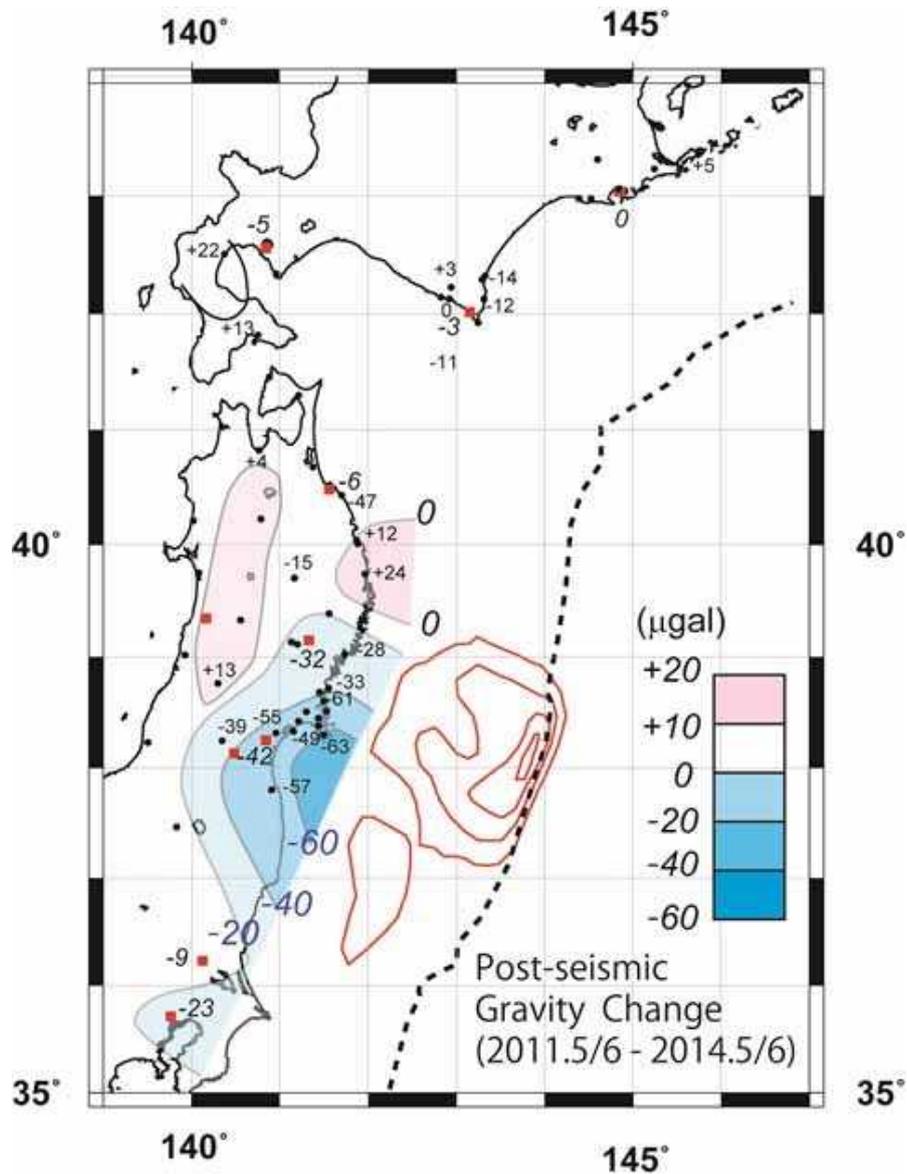


図4. 東北地方・北海道におけるハイブリッド重力観測の結果（東北大学[課題番号：1203]）
 2011年5-6月と2014年5-6月に実施した観測から得られた重力の差を示す。赤四角は絶対重力観測（10点；精度2 μgal ），黒丸は相対重力観測（50点）を実施した地点を示す。赤色コンターは東北地方太平洋沖地震のすべり量分布（Iinuma et al., 2012）を表す。